

★JAXA・やまぐち宇宙教育推進事業★

★活動レポート①★

山口県教育庁
社会教育・文化財課
2020年10月12日

☆リモートによる「大人版宇宙の教室」スタート！☆

10月2日・3日の2日間、県内2会場において「第1回大人版宇宙の教室」が開催されました。講師には、「子ども・宇宙・未来の会（通称：KU-MA）」の副会長である稲葉 茂氏を迎えましたが、コロナの影響を鑑みて、神奈川県と山口県とを「web 会議アプリ zoom」を活用してつないだ、初のリモート開催となりました。2会場合わせて27名の参加者が集まりましたが、リモートであることを感じさせない和やかな雰囲気の中、宇宙教育に関する講義や科学実験を行いました。



宇宙教育と言えば、「地球外の空間について学ぶこと」と考えてしまいがちですが、KU-MA が進める本講座は、身近な現象に対して科学的アプローチで考えることを通して、子どもたちに冒険心や好奇心・匠の心を身に付けていき、「宇宙の片隅にひっそりとある『私たちの命』」について考えることをめざしています。これから指導者となっていく参加者の方にも、科学を通して「命の大切さ」について考えていくきっかけとなりました。

☆体験する！理解する！つながる！やる気になる！☆

今回の講座では、主に3つの実験を実施しました（①大気圧を体験しよう、②あわせ鏡と万華鏡づくり、③切り絵で遊ぼう）。どれもKU-MA が全国の「宇宙の学校®」で実施されているもので、体験を通して科学について理解する要素が盛りだくさんでした。

目の前で起こる不思議な現象に参加者は、まるで童心にかえったかのように、夢中になって活動していました。

また参加者には、今回学んだことをインプットするだけでなく、様々な場面でアウトプットしていくことが求められています。自分たちが体験した宇宙教育の魅力を、「未来の世界から預かっている子どもたち」に対して伝えていくことを通して、山口県の教育力をさらに高めていく指導者へと進んでいくことでしょう。



コップの中を【真空】にしていくと、
中にあるマシュマロはどうなるでしょう？

☆参加者の感想よい☆

- 宇宙教育が、宇宙の科学を子どもたちに伝えることにとどまらず、子どもたちの学びに向かう姿勢に深くかかわっていることを知り、たいへん感銘を受けた。
- 学ぶことの楽しさを、いろんな人に知ってもらいたいと感じた。共同的な学びを通して、みんなでワクワクしながら学べることを実感した。
- 地域で、子どもたちのために活動することのイメージがわいた。今後、地元で「宇宙の学校®」を開催できるように学んでいきたい。
- 講義「活動時の安全について」を聞いて、子どもたちへの対応の仕方を詳しく知ることができ、自分が指導している子どもたちとの安全な活動について、改めて考えていきたいと感じた。
- 宇宙の不思議を知ることは、地球で生きていくこと・命の大切さにつながることを知り、環境問題にもつながると感じた。

